

平和へのメッセージ

新日本宗教団体連合会は、昭和26年の結成以来今日まで、人類の福祉と世界平和への貢献を目的に活動を推進してきております。

私たちは、日本政府に対して、「すべてのいのちを尊ぶ世界」、「平和な世界」の実現に向けて、緊張が高まる北朝鮮情勢を平和的に解決するため、国際社会においてあらゆる外交ルートをとおして最善を尽くすよう、求めるものであります。

世界の情勢は、刻一刻と変化しつつありますが、第二次世界大戦後、日本が72年間をかけて積み上げてきた「二度と戦争を起こしてはならない」「国際問題を武力で解決してはならない」との「絶対非戦」の精神を、北朝鮮をはじめ、関係各国に伝えていくよう、政府に強く求めるものであります。

そして、すべての国会議員に対しては、関係国との連携を深め、武力ではなく対話と協調をとおして問題を平和的に解決していくよう、求めつづけるものであります。

相互の交流と対話が世界に広がりつつある現代において、武力による国際問題の解決、そして戦争は、如何なる理由があろうとも回避されなければなりません。

私たちは、「すべてのいのちを尊ぶ世界」、「平和な世界」の実現に向けて、祈り、行動しつづけてまいります。

平成29年11月23日

新日本宗教団体連合会